

## 福井県立鯖江青年の家(1/2)

# 人と出会い、 自然とふれあえる、 里山の隠れ家です！

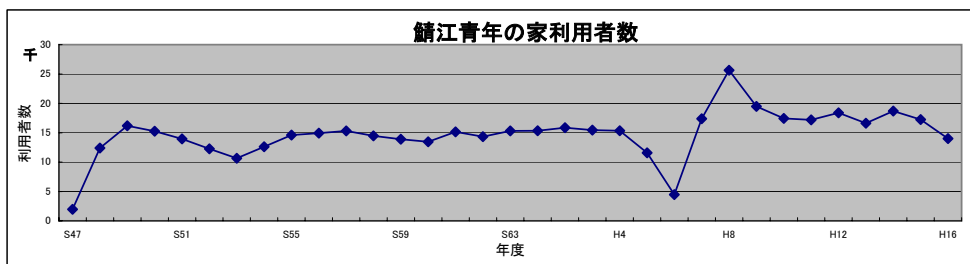
所在地	鯖江市上野田町19-1		
設置年月日	平成48年2月1日		
施設の種類	宿泊・研修施設	施設管理主体	県
設置の目的	青少年を対象とした各種体験活動や研修会などを開催し、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、延4,151.61㎡ 宿泊室(120名)、研修室(120名)、多目的ホール(60名)		
職員数	5名		

### 利用状況

	H14	H15	H16
利用者数(人)	18,698	17,243	14,015

### 利用者負担(利用料金)等

入館料	26歳以上	880円
	26歳未満	530円
	高校・大学生	390円
	小・中学生	270円



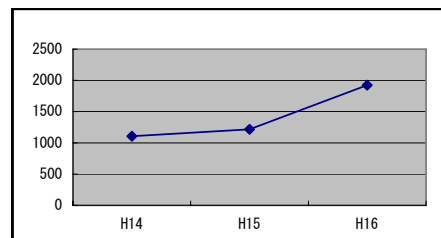
利用状況の推移  
昭和47年度の開所以来延利用者は毎年1万人台で推移してきました。世界体操選手権のための施設の充実により、平成8年度には2万5千人の利用がありました。直近3年は、学校の利用者が減ったことなどから、1万8千人から1万4千人へと減少傾向にあります。

### 平成16年度の特徴について

事業実績	平成16年度は、次代を担う児童・生徒や青少年を対象とした主催事業として、ボランティア研修会、地域こども教室推進事業、サマーチャレンジ教室を実施しました。
	体験活動ボランティア活動支援センター事業として、体験活動指導者と青少年ボランティアの育成を図る研修会を実施するとともに、ボランティアグループ「ぼら日和」を立ち上げました。
	園芸活動体験、星空の観察、合宿通学、焼き杉板作り、お茶席、クリスマスリース作り、ビーズトラップ作り、水ようかん作り、野鳥学習、野鳥観察等を実施しました。

県内の小学4年生から中学生を対象に、夏休みを利用して宿泊しながら様々な体験活動を行い、思いやりや自主性を養うことを目的とした長期宿泊体験事業を実施しました。

### 主催事業参加者推移



## 福井県立鯖江青年の家(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	49,855	58.5%
	退職給与引当金繰入	▲ 1,406	-1.7%
	計	48,449	56.8%
物にかかるコスト	物件費	19,181	22.5%
	維持補修費	2,354	2.8%
	減価償却費	8,325	9.8%
	計	29,860	35.1%
その他	公債費(利子)	6,874	8.1%
	その他	6	0.0%
	計	6,880	8.1%
合計		85,189	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	309,438	固定負債	70,050
投資等	0	流動負債	81,250
流動資産	0	正味資産	158,138
計	309,438	計	309,438

### 施設の特徴

鯖江青年の家は、丹南地域のほか、県内外の養護学校や障害者団体、スポーツ少年団等に利用されています。  
大学生を中心としたボランティアリーダーの育成の場として活用されています。  
近くに位置する学校などとの連携を図りながら、体験活動や研修会などを実施しています。  
児童・生徒の社会性や豊かな人間性を育む観点から体験活動を促進する必要があり、宿泊設備を備え、低廉な価格で利用できるよう配慮した施設です。  
上岡山の自然を生かしたウォークラリーや栽培温室を利用した主催事業を通じて、地域を結ぶ学習環境づくりを推進しています。

### 今後の課題

地域特性を活かした施設運営をどうするかが課題となっています。

### 今後の事業方針 取り組み内容

「地域を生かした連携による青少年の体験学習活動の充実」を基本方針とし、開かれた「青年の家」づくり、生涯学習社会をふまえた研修内容の充実、地域環境を生かした活動プログラムの工夫と充実、利用団体や利用者の自主的・創造的な研修活動の推進に取り組んでいきます。

各種団体、企業、学校等といった多様な利用者の立場で、利用者が興味や関心に応じて自主的に活動できる特色ある青年の家を目指していきます。

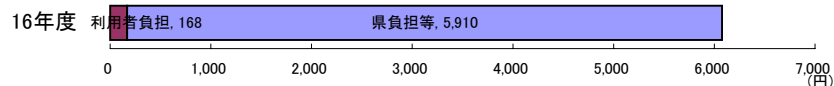
今後は、自然の豊かさや交通の便がよいという地域特性を活かした各種体験活動などに取組み、利用の促進を図っていきます。

(単位 千円)

収入			
収入	利用料等収入	2,351	2.8%
	その他収入	228	0.3%
	一般財源	82,610	97.0%

利用料等収入計	2,351,000 円
利用者1人あたり平均利用料	168 円
利用者1人あたりコスト	6,078 円

### 利用者1人あたりのコスト負担の状況



### バランスシート、 行政コスト計算書の特徴

教育施設として、低廉な価格での利用施設であるため、利用者一人当たりのコストは高くなっています。

